

第1回議会モニター会議で出された意見等

項 目	意見・感想等
傍聴	・傍聴の申し込み等の手順がわからない ・政治等に詳しい人しか傍聴できないような敷居が高いイメージ ・ホームページ、広報でのお知らせやいつも同じ場所での掲示だけではなく、内容に関係のある場所等に掲示するなど、工夫が必要
開かれた議会	・いろいろ情報発信しても、市民が関心を持たないと見ないものである ・議会のネット中継があることを知らない人が多いのではないか ・議会報の委員会の活動について、委員の名前も載せれば、もっと議員や議会を身近に感じる
議会報告会	・議員が資料を棒読みで実感がもてない説明で、質問が終わったら地区住民の生活の不満の会話ばかりで、議会とはかけ離れたもので、それ以降参加していない。 ・ワークショップのやり方もあるが、各地区で開催する意味は、地区が抱えている問題を話合う場である ・自分の意見がどう行政に反映されたかわからないことが、参加者が少なくなった原因だと思うので、意見のアンサーバックをもっと目にふれるようにすればいい
行政	・住民主体という形はできているが、実際に携わる住民がいないという根本的な課題がある。モデル地区を作り、重点的に行っていけばいい ・コロナ禍においての市の対応が、手厚くクイックレスポンスであることは評価する。ただ、市、商工会議所、税理士から支援の書類が届き、それぞれの書類を見て該当する事業を探しているが、書類を一元化できないか。 ・コロナ禍のピンチをチャンスに変える発想が必要。首都圏は3密状況になるので地方に住みテレワークできる事業展開で人口増のチャンスにできないか。 ・コロナで今影響を受けているのがサービス業であるが、アフターコロナでは第1次産業の農業と林業が見直されるチャンスと思って、進めてほしい ・財政がひっ迫したからといって、先人たちが苦労して造った施設を閉鎖するのではなく、地域で支える形にし、公共施設を維持してもらいたい
その他	・市民の政治やまちづくりへの参画の意識がない。いいまちにしたいという思いはあると思うが、そのために政治にかかわって、議会を監視し、まちを変えていこう意識が薄い。 ・ハーバーラジオと行政がタイアップしているのがすごくいい